

ボウリング型

ストライク・マッチ・ボウリング

昭和52年に、武生市教育委員会保健体育課（現在の越前市教育委員会事務局スポーツ課）が、「誰でも手軽に楽しめるスポーツを！」との目的で開発したボウリング型スポーツです。

場所をとらず準備も簡単で、動きも激しくなく、意外性もあり、個人でもチームでも楽しめるので、県内外の子供から高齢者まで多くの人に愛好されています。市内では、地区公民館等で盛んに練習会が行われたり、市あるいは各地区でも数多くの大会が行われたりしています。

一番の特徴は30°の角度がついたつい立（ピンガード）が後ろにあることで、つい立に当たり跳ね返ったボールでピンが倒れることもあるという意外性を持たせています。

用具

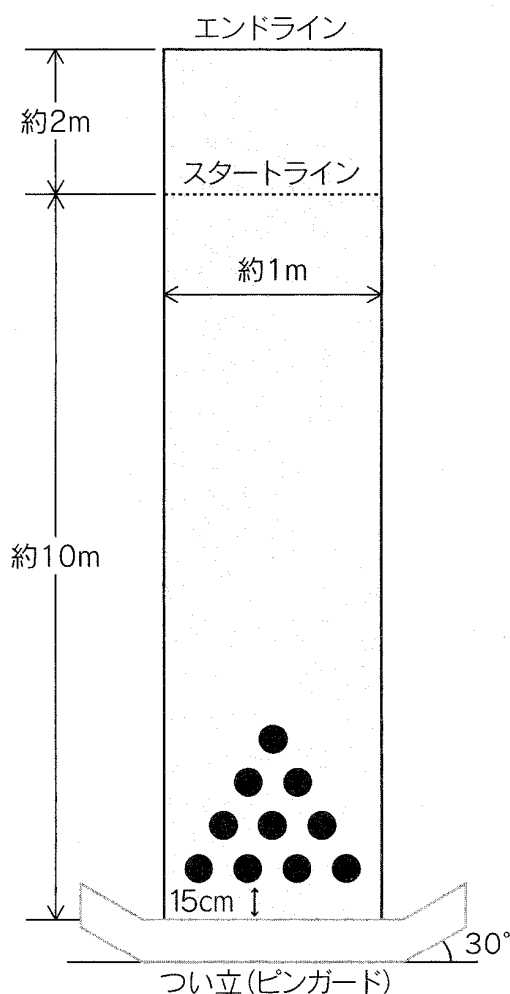
- ☆ピン 10本
- ☆ボール 2個（赤・黄）
- ☆つい立（ピンガード）

人数

- ☆個人戦
- ☆団体戦も可

場所（コート）

- ☆1コート3×15m程度の平たんな場所に、レーンマットを敷いて行う。（コート右図）



	
運動量	★★
技能	★★★★
準備	★★★★

ルール（進め方）

☆ピン10本を三角形に並べ、ボールを転がしてできるだけ多くのピンを倒し、得点を競う。

☆1ゲームは5フレームで、第1投球は赤ボール、第2投球は黄ボールを使う。

☆得点

① ストライク

第1投球（赤ボール）で10本のピンを完全に倒した場合がストライクで、ボーナス点10点が加算される。

② スペア

第2投球（黄ボール）で10本のピンを完全に倒した場合がスペアで、ボーナス点5点が加算される。

③ 最高点数

5フレーム全てストライクの場合で、各フレーム20点、合計100点になる。

【得点記録例】

ストライク、マッチ、ボウリング得点記録用紙										競技年月日		1月23日		チーム名		菊花ボウラーズ			
回数	1			2			3			4			5			順位			
要 氏名	一 投 目	二 投 目	三 投 目	一 投 目	二 投 目	三 投 目	一 投 目	二 投 目	三 投 目	一 投 目	二 投 目	三 投 目	一 投 目	二 投 目	三 投 目	一 投 目	二 投 目	三 投 目	総 計
山本	5	-	3	-	8	-	0	-	9	-	0	-	9	-	0	-	9	-	39
	3	8	4	7	15	1	9	24	6	6	30	0	9	39					
	+			+			+			+			+						
	スイングポイント 10点			スイングポイント 5点			スイングポイント 5点			スイングポイント 10点									
田中	7	-	10	10	6	5	8	5	10	10	2	15	59	-	20	79			
	2	9	-	20	29	4	15	44	2	15	59	-	20	79					
	+			+			+			+			+						
	最高 10-スト																		
佐々木	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	-	20	-	20	40	-	20	60	-	20	80	-	20	100					